



「問題が生じたら、それを克服する楽しみが生まれるはず。楽じゃ、つままないじゃない」

読み聞かせを始めたのは、98年の秋。ひとりり始めて、女房に手伝ってもらって、二人三脚が1年弱続いた。その間に仲間が10人超えたんです。それで、99年の8月「よい子に読み聞かせ隊」を結成しました。

00年の3月、神戸の西宮市立瓦林小学校に呼ばれたんです。そこには、95年の阪神大震災を、乳児あるいは幼児で経験した子供たちが多くて、いまだに夜中に叫んで跳び起きたり、トラウクの振動に怯えて、大人しがみついたりする。読み聞かせで、少しでも心のケアになれば、と呼んでいたんです。

何をやるのかと考えて、普通は楽しいお話を、と思うんでしょうが、普段どおりに、子供が一番感動してくれるものをやったんです。そこそが心のケアになるという思いがあって。子供が一番感動する話って、聞いて、他人の痛み、悲しみを理解

# 志茂田景樹

(作家)

とか、オシャレだとか、似合ってるとか、いろんな意味がある。「カワイイ」なんてですね。凶星だったんで「そうだよ」って答えました。最近では、それが一番嬉しかったですね。「これからだよ」っていう言葉を、

結果、いつも以上に涙を流してくれた子供たちが多くて、終わってからのサイン会も、列が長くなりすぎて夜になっても終わらなかった。それで、軸が定まった感じですね。僕は3月25日が誕生日なんです。00年、還暦60歳を期に「新せ口歳」になろうと、心に決めてたんです。だから、読み聞かせ隊のコンセプトが定まったことあって、その日はとてもさわやかな朝を迎えることができました。

新せ口歳だから、夢を描いていいじゃないか、目標も掲げようじゃないか、2歳、3歳、5歳、10歳の子供たちから学ぶこともたくさんある。そういう思いを込めての新せ口歳でした。いまは、新11歳ですね。先日、読み聞かせのあとに、5歳くらいの男の子に、「そんなふうには髪染めてるのは、カワイイっていわれたいから？」って聞かれました。その「カワイイ」は、カッコイイ

連載 第60回

## いまだ新11歳の人間力

この人を見よ!

撮影/弦巻 勝



40代50代の人ほど噛みしめてほしいですね。昔を振り返って懐かしんだり、「俺ももうリタイヤだよ」なんていう。要するに、あとは楽しようと。それが、寝て食ってるだけじゃねえ。簡単なことばっかり求めて、楽じゃ、つままないじゃないの、ってことです。課題とか問題がいい具合にポンポンと出てきて、それに取組んで、苦勞を味わって得たものに、すこく充実して感動するわけでしょう。それをなくしちゃったんじゃあ、生きてもつままないよ、ってことなんで

すよね。僕だって、これからだと思っんです。やりたいことは、いっぱい出てくる。まだ、新11歳ですから。

しもだ・かげき  
1940年3月25日生まれ。大学を卒業後、セールスマン、探偵、塾講師、記者などさまざまな職業を転々とし、作家を志す。76年、「やっこ探偵」で小説現代新人賞を受賞し、プロデビュー。80年、「黄色い牙」で直木賞を受賞。直木賞作家という大家でありながら、独自のファッションセンスでも注目され、「笑っていいとも」にもレギュラー出演。近年は作家活動のほかに、年平均100日にも及ぶ読み聞かせ活動を行なっている。